

12月定例会を振り返って

会派の意見

市民クラブ

西敷地利活用について

市民・議会に十分な説明を

そして合意が前提!

近藤強議員は、西敷地問題について質問。多くの市民が反対しているとの議論展開がされているが、市民アンケートでも中心商店街や中心市街地の活性化、観光振興のため、広場だけでなく高度利用、有効活用を求める市民の声もほぼ同数出されており、理解できない。

この間、建てる・建てないなどの議論に埋没して、中心商店街や中心市街地の活性化、日曜市やよさこい祭りと連携した観光振興策の議論が不足している。市民の理解をより深めるために、具体的な振興策を示すべきであるとたまたした。

岡崎邦子議員は、地元の宝となる秦中央保育園、地元の頼れる秦ふれあいセンターを市民協働で実現していくよう要望。ま

た、秦小学校下西舎の3階にはトイレがなく、4年生4クラスは2階の2年生4クラスのトイレを使っており、早急な改善を求める。働く世代を支える放課後児童クラブは、来年度から「従うべき基準」が撤廃される。現在、88児童クラブで44小学校から4078人を受け入れている本市の今後の方針を問う。

西敷地利活用問題については、「定期借地権の議決以前の問題である」と市長をたまたす。

日本共産党

「西敷地」議案先送りに追い込み、市長に事業白紙撤回を迫る

一般質問に迫、はた、細木、

下元、浜口、岡田議員が登壇。

◎西敷地事業について、市民説明会で公認会計士から「50年間のお墨付きを得た」との市長の発言は「虚偽」であると追及。市長は確認していないと認めた。業者から要求されている土地賃貸料・固定資産税の減免が前提の補助金を使わないと基本協定に明記を求めたが応じなかった。市の移住・定住計画の数十倍ものマンション入居計画の欺瞞や、事業費のうち26億円もの銀行融資の担保の確認すらしていないことを明らかにし、事業の白紙撤回を迫った。◎重篤な疾患の可能性がある国保滞納者に保険証を交付しなかった問題で、特別な事情を考慮した慎重な対応を求め約束。◎今年度少人数学級

編成がなされなかった対応の不足さを教育長が認め、来年度以降の実施を明言。◎市教委に対する請願のルール化を求め、制度の明示や規則等の整備を検討すると答弁。◎民泊条例は、市民の安全な住環境維持のため管理人不在型を制限する修正案を提案したが否決。農業集落排水事業利用料値上げに反対した。

新風クラブ

学校ブロック塀の安全対策、

台風24号等に伴う災害復旧費を含む増額補正予算を可決!

◆吉永哲也議員の個人質問

28年度決算から再び悪化傾向を見せる財政問題について、党派としての要望提言を引用しつつ、各種指標を紹介しながら岡崎市長の政治姿勢をたまたした。

岡崎市長は、「来年度予算編成に合わせて策定する5カ年の財政健全化計画の中で歳入・歳出を詰めるが、ご指摘の遊休資産の活用や未収金の縮減に取り組み、貴会派からの要望提言書にもある道路改良など、生活密着型の工事財源はしっかりと確保していきたい」と述べた。

◆水口晴雄議員の個人質問
新図書館西敷地の利活用については、議案提出に向けて、より丁寧な説明が不可欠ではないかと岡崎市長に質問。

それに対し、「西敷地は追手前小と新堀小の統合によって生み出された、中心市街地活性化を進める上で重要な土地。有識者による議論や市民アンケートも踏まえ基本方針を決めたが、その具体案となる本事業はまだ十分に認知されておらず、議会論戦を踏まえ、各種団体への説明会を検討する」と述べた。

公明党

市民の暮らしをより良く豊かに

伊藤弘幸議員は、県の条例制定の動きを受け、本市にも独自の自転車安全対策条例の必要性を訴え、前回質問に引き続き、自転車通学における生徒のヘルメット着用の有効性や購入補助制度の必要性をたまたしました。

大久保尊司議員は、本年9月25日から実施されている中学校給食について、配食されている生徒たちが給食に慣れる前の早い時期に、アンケート調査を実施することを求め、本年度中に行うとの答弁を得ました。

西森美和議員は、大雨の直後に水無し川になる本宮川について、浸水のリスクを高めることなく生物の多様性に配慮する対策を提案。庁内で横断的に協議する場の設置を求め、課題を精査するよう強く求めました。

寺内憲資議員は、先進市の別府市を紹介した上で、窓口での遺族の負担軽減につながる葬儀後の手続きのワンストップ化を要求し、執行部から遺族のための「おくやみ窓口」を開設するとの明確な答弁を得ました。

新こうち未来

現在の新図書館西敷地利活用事業計画については早期の白紙撤回を求める

12月議会において、会派全員が質問に立ち、全ての議員が新図書館西敷地利活用事業についてたまたした。

市長は、市民や議会に丁寧に説明するとしているが、当初から丁寧な説明はなく、書類選考やプロポーザル選定における不透明さや、その後の優先交渉権者との協議での不可解な点の多さなど、市民・議会への説明以前の状況にある。もはや、改めて説明しても、議案として3月議会に提出できる内容ではない。選択肢として、早期の白紙撤回以外にあり得ない。

新図書館西敷地は、追手前小学校跡地であり、市民の財産であるということを忘れてはならない。氏原嗣志、戸田二郎、川村貞夫、福島明、浜口卓也。

みどりの会

近森正久市議

日曜市の出店規制緩和が進む南部の振興計画を全力で支援桂浜の再開発に新しい魅力をアーケード老朽化問題を提言登下校道路の危険な塀を指摘中学スポーツを地域に移行を猫の殺処分的大幅削減にめど被災時のガソリン備蓄を指摘